

「インフルエンザにおけるウイルス量と粘膜抗体価の関連性解明に向けた研究」に参加された患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年12月24日
大学院医学研究院感染病態学

大学院医学研究院感染病態学では、インフルエンザに関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

研究組織の「既存の試料・情報の提供のみを行う機関」にて2024年2月1日～2025年6月30日に実施された「インフルエンザにおけるウイルス量と粘膜抗体価の関連性解明に向けた研究」に参加され、将来の研究への試料・情報の利用及び提供に同意された方

1. 研究課題名

「インフルエンザウイルス感染動態と粘膜組織の宿主応答との関連性解明研究」

2. 研究期間

2025年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

この研究は、インフルエンザウイルスに対して体が持つ免疫機能などを明らかにしようとします。過去にインフルエンザと診断されて「インフルエンザにおけるウイルス量と粘膜抗体価の関連性解明に向けた研究」に参加された方から採取された鼻咽頭拭い液の残りを解析して、症状やウイルスの量、免疫機能に関する体内の分子の特徴などの関係性を明らかにできることが期待できます。さらに、これにより新しい予防法や治療法を開発することに発展していくことが期待されます。体内の分子の特徴は RNA シーケンスという手法を用いて詳細に調べます。この方法では遺伝子配列の読み取りが可能ですが遺伝情報自体を直接解析することはできません。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた試料はタカラバイオ株式会社、マクロジェン株式会社、ノボジーン株式会社、大阪大学 微生物病研究所に提供され、解析がおこなわれます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

「インフルエンザにおけるウイルス量と粘膜抗体価の関連性解明に向けた研究」に参加時にいただいた情報：年齢、性別、インフルエンザに罹患した時の臨床症状等、過去のインフルエンザ罹患歴、インフルエンザワクチンの接種歴、ウイルス学的解析データ、免疫学的解析データ

「インフルエンザにおけるウイルス量と粘膜抗体価の関連性解明に向けた研究」に参加時に採取させていただいた鼻咽頭拭い液

5. 研究組織（試料・情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
千葉大学大学院医学研究院感染病態学	鈴木 忠樹
共同研究機関名	研究責任者
塩野義製薬株式会社	六嶋 正知
国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所	相内 章

既存の試料・情報の提供のみを行う機関
かめざわクリニック
医療法人 光仁会 たかはし内科
医療法人社団 たむら医院
久保クリニック
医療法人 慈公会 公平病院
佐藤クリニック
医療法人社団 三友会 彩のクリニック
医療法人 柴崎内科小児科医院
医療法人社団 弘恵会 杉浦医院
社会医療法人 恵和会 西岡病院
和田耳鼻咽喉科
たしろ代謝内科クリニック
医療法人 緑風会 みどりクリニック

医療法人社団誠和会 藤木内科外科クリニック

万代メディカルクリニック

医療法人ロングウッド 前田クリニック

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学大学院医学研究院感染病態学および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 利益相反

医学研究を実施する上で、研究にかかわる企業と研究者との利益関係を明確にする必要がありますが、この研究に従事する研究者の一部が所属する千葉大学附属病院ヒト粘膜ワクチン学部門における研究活動の一部は、塩野義製薬と千葉大学附属病院の共同研究契約に基づく共同研究費により実施しています。ただし、この研究者は本研究において解析には関与しません。

8. 研究に関する相談窓口について

研究に試料・情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。 試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

大学院医学研究院感染病態学 教授 鈴木 忠樹
043(226)2044 内線5140